



NCショット®

(ポリマーセメントモルタル)

コンクリート断面修復材(軽量・速硬タイプ)

特 長



荷姿：20kg紙袋
2kgPETボトル

製品仕様

適用部位	コンクリート構造物の断面修復		
適用下地	コンクリート、モルタル		
練り上がり量	14.3ℓ		
標準使用量(1袋)	約0.95㎡(15mm厚)	標準使用量(1㎡)	約70袋

試験成績表

<ご注意>

右記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

二瀬窯業(株) 試験室

項目 [単位]	試験条件	試験結果	基準値	試験方法
硬化時間 [時間-分]	—	2-30	1時間以上	JIS R 5201
厚塗り性	—	なし	ダレ、ズレ、はがれを生じないこと	JHS416-2004
断面修復材の外観 (塗装なし)	温冷繰り返し試験後	なし	均一でわれ、はがれ、ふくれのないこと	JIS A 6909
硬化収縮性 [%]	—	0.03	0.05以下	JIS A 1129-3
熱膨張性 [$\times 10^{-4}/^{\circ}\text{C}$]	硬化収縮試験後	1.2	2.0以下	JIS K 6911
コンクリートとの付着性 [N/mm^2]	湿潤時	2.7	1.5以上	JSCE K 561
	耐アルカリ性試験後	2.4		
	温冷繰り返し試験後	2.2		
塗装塗膜との付着性 [N/mm^2]	温冷繰り返し試験後	1.7	1.0以上	JIS A 6909
圧縮強度 [N/mm^2]	—	37.6	補修設計で定めた設計基準強度以上であること	JIS R 5201

・試験規格: 東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社

構造物施工管理要領(平成27年7月) 左官工法による断面修復材の性能照査

・試験環境: 温度: $23 \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、湿度: $50 \pm 5\%$

塗厚別材料使用量

塗厚 (mm)	使用量 (kg/m^2)
10	15.40
20	30.80
30	46.20
50	77.00
積算比重	1.540

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1306005
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用

施工手順

- 下地処理** 下地のぜい弱部分や硬化不良部、劣化部位等は除去し、健全な下地を露出させてください。
予め防錆処理や剥落防止措置等を行ってください。
※浮き・剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。
- プライマー処理** 専用プライマーを施工面に塗布してプライマー処理を行ってください。
※ムラ無く丁寧に塗布してください。
- 調合** 下図の通りに調合し、モルタルミキサー等で練り残しのない様によく混練してください。
※外気温、水温等により可使時間や施工性が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で調整してください。
※練置きは夏期20分、冬期30分以内とし、練足し、水を加えての練り戻しはしないでください。



- 施工** 施工面に対し、十分にコテ圧をかけてしごき塗りを行った後、追っかけにて塗り付けてください。一回の塗り付け厚さは壁面で30mm程度、天井面で15mm程度を限度としてください。
基準厚さに到達するまで数回に分けて施工を行ってください。
- 養生** 施工後、直射日光・風等を避け、必要に応じて、シート掛け養生等を行ってください。また、施工後、降雨・降雪の恐れがある場合にもシート掛け養生を行い、特に寒冷時には保温養生を行ってください。

注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

1. 気温が5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は、ジェットヒーター等による採暖措置を講じ、作業場の雰囲気温度を上げてください。
2. 酷暑時には、材料の練り上がり温度が概ね30℃以下になる様、練り水に冷水を用い、また寒冷時には、温水を用いる等の対策を講じてください。
3. 直射日光、風雨時にはシート掛けなど、十分な養生をしてください。
4. 材料の保管は、パレット等を利用し、地面（床）から離して室内など湿気・通風を避ける場所にしてください。
5. 固まったものの使用は避けてください。
6. 材料には練水その他、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
7. 本製品の品質保持期間は、製造後約4ヶ月です。



NCショットLは安全に正しくお使いください。



ISO 14001取得企業

施工要領・SDS等は別途ご請求ください

20250603.24